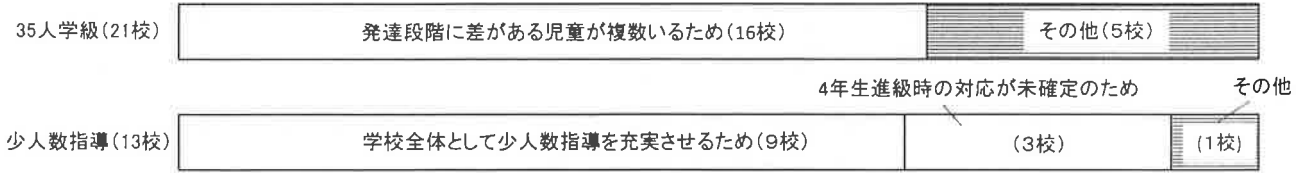


# 《小学校3年生における35人学級選択制について》

資料No. 2

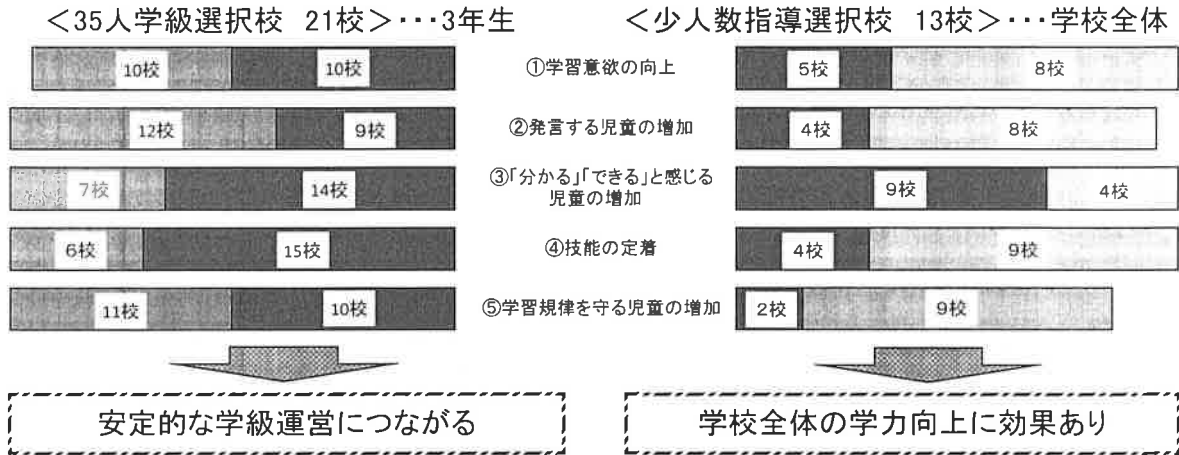
## 1. H28該当校の状況 [該当校34校への実態調査(H28.7月実施)より]

### (1) 選択理由



### (2) 選択制の効果

■ かなり思う    ■ 思う



### (3) 選択制の課題

<p>＜35人学級選択校＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小集団となることで、競い高め合う意識の低下</li> <li>●担任の力量により、各学級間の学力差が懸念</li> <li>●空き教室の確保</li> </ul>	<p>＜少人数指導選択校＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●担任と少人数指導担当との打ち合わせ時間の確保、役割分担の難しさ</li> <li>●複数の教員が同一の教室を担当することによる時間割編制の複雑化</li> </ul>
---	---

少人数学級、少人数指導、いずれも3年生の実態を踏まえながら、学校全体の教育効果を考慮して選択されている

一定の課題は抱えつつ、少人数学級、少人数指導それぞれのよさを取り入れた少人数教育が展開されている

## 2. 制度に対する意見(主なもの)

- ・3年生で築いた良好な人間関係の維持や安定した学習指導が行えるよう、4年生でも少人数学級を選択できるようにしてほしい(35人学級選択校)
- ・小学校における無担任の教員の必要性は大きいことから、少人数指導の維持もお願いしたい(少人数指導選択校)
- ・2年間を見通した制度になると、少人数学級と少人数指導の選択の判断が容易になる(H29選択制該当見込み校)

## 3. 市町村教育委員会、関係団体等からの要望

#### 市町村教育委員会

- ・小学校3、4年生は仲間意識が強くなる。そのような成長過程において、社会性や道徳心を育てる上で重要な時期であり、3年生までの実態を把握している担任の継続した指導が必要
- ・2年ごとにクラス替えをしている実態を踏まえ、来年度4年生への対応が必要

#### 小学校長会

- ・3年生の選択制の導入により、学校の実情に応じた対応が可能となりありがたい
- ・安定した学級運営を継続するためにも、来年度4年生においても対応できるようにお願いしたい

## 4. その他

### (1) クラス替えの状況(3年生→4年生進級時にクラス替えなし)

[県全体] 175校/188校中 (約93%)    [H28:小3・35人学級選択校] 19校/21校中